



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

Rotary

東京臨海ロータリークラブ



クラブ会長ターゲット  
「ロータリアンらしい親睦と奉仕」  
"THE ROTARIAN'S  
FRIENDSHIP AND SERVICES"  
2017-2018年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
栗山 義広



国際ロータリーテーマ 2018年1月31日【第1085回】  
「ロータリー:変化をもたらす」  
"ROTARY:  
MAKING A DIFFERENCE"  
2017-2018年度  
国際ロータリー会長  
イアン H.S. ライズリー  
創 立 : 1994年8月8日  
会 長 : 栗山 義 広  
副 会 長 : 本 多 信 雄  
幹 事 : 高 橋 映 治  
会報委員長 : 飯 塚 憲 貴

## 1月31日の卓話

『家に眠るお宝でファンドレイジング』  
TMコミュニケーションサービス(株)  
代表取締役 三井 恒雄様

## 1月24日の出席率

会員在籍者数 36名  
会員出席者数 19名  
会員欠席者数 17名  
本日の出席率 54.29%  
前々回訂正出席率 91.67%

## 2月7日の卓話

『ローターアクトとは  
～49年の軌跡と未来への一歩～』  
国際ロータリー第2580地区ローターアクト  
広報委員長 林 将基様  
(東京池袋 RAC 所属)

## 《第1084回例会報告 2018年1月24日》

司会：佐藤大輔 SAA 委員長

### ■点鐘：栗山会長

雪の所為か、人徳の無さか。。。今日の職業奉仕フォーラムは、鈴木委員長休みのため、代わりに私が代理で進めますので、宜しくお願いいたします。



### ■ロータリーソング斉唱

「日も風も星も」  
「四つのテスト」

：ソングリーダー 尾身委員



### ■「ロータリーの目的」

東京臨海 RCVer. 唱和

：本多副会長

### ■来賓・ゲストスピーカー紹介：栗山会長

本日は、いらっしやいません。

### ■ビジター紹介：田村会員

杉田敬光様 (東京城東 RC)



### ■会長報告：栗山会長

・本日は、職業奉仕部門フォーラムを開催致しますので、卓話はなく、例会を1時で終了させて頂きます。メールボックスには関係資料を入れてあります。ぜひ休憩中にお手に取り、フォーラムで活用してください。鈴木委員長がインフルエンザでお休みなので、私がカウンセラーを務めます。昨日いきなり連絡を受け、資料を手元に渡され、私も事前に読みました。実践しているだろうが、それを表現して、皆さんに受け入れられるか？地域社会に貢献できるか？それらを、みなさんと話し合いたいです。元気が無いとできない、社会的責任はどうするの？ということでもいいので、各自自由にご自身の意見をお話ください。  
・「我が仲間の職業」の更新をお願いします。追加・差し替え分を会員皆様のメールボックスに配布致しました。

### ■幹事報告：高橋幹事

・本日は、ありません。



## ■委員会報告

### ・クラブ研修リーダー (齊藤委員)

ロータリーの行動規範をお配りしました。どうやって行動するかが大事。これを例会のときに唱和したらどうでしょうか？個人、事業として、高い倫理基準を持って行動することの必要性を説いています。取引先などと公平に、自分の職業スキルを活かし、若い人を導きます。特に4つ目が大事だと思います。ロータリークラブやロータリアンの評判を落とすことを避けるということです。これが難しい。来年度は10名が地区に出ます。クラブを褒め、仲間を称える事に努めましょう。



### ■出席報告：地引会員

⇒詳細は1頁バナー下に掲載



### ■ニコニコ BOX 報告：

#### 佐藤正樹副委員長

(ご意向)本日の職業奉仕部門フォーラム、宜しくお願い致します。  
：栗山会長、本多副会長、高橋幹事、勝間田会員、田村会員、入澤会員、尾身会員、酒井会員、齊藤会員、篠塚慎之介会員、佐久間栄一会員、須藤会員、飯塚会員、佐藤正樹会員

**【14件 38,000円 累計 1,345,000円】**

## ■点鐘・閉会：栗山会長

### 今週のメイクアップ(1/19～1/24)

今井忠会員(東京東江戸川 RC)  
小林健一郎会員(REC Sunrise of Japan)  
齊藤実会員(東京江戸川 RC、東京臨海東 RC)  
篠塚仁会員(ワールド大阪 REC、北海道 2500REC)  
田村浩康会員(東京江戸川 RC)



## 番外編：＜今日のメニュー（1月24日）＞



貝のチャウダー、菜花とトマトのサラダ  
錦爽鶏のガランティーヌとカツレツポルチーニのクリーム煮添え  
リンゴとキャラメルのムース季節のフルーツ添え  
コーヒー、パン  
＜東武ホテルレバント東京 宴会洋食調理長 佐藤均様＞

### ＜職業奉仕部門フォーラム＞ カウンセラー：栗山会長

時間 2018年1月24日  
13:10～14:40 90分間

#### 方式

1. 職業奉仕入門の解説、及び全員資料を10分間一読
2. パスト会長を含んだ6～7人で円卓を囲み、15分の討議
  - (ア) 栗山会長、本多副会長、斉藤パスト会長、飯塚会員、西野会員、篠塚慎之助会員
  - (イ) 佐久間栄一パスト会長、田村パスト会長、酒井会員、地引会員、勝間田会員
  - (ウ) 高橋幹事、須藤パスト会長、入澤パスト会長、坂本会員、尾身会員、佐藤正樹会員、佐藤大輔会員
3. 各自2～3分で職業奉仕について発表

#### 報告詳細（報告順。一部敬称略）

##### 鈴木委員長

船堀駅の花壇維持整備活動。少年ランド10面の整備活動。財団を創設し、しっかり利益を出すため効果的な寄付行為を行う。政経塾を開き、次世代の経営者の教育を行う。

##### 本多副会長

職業奉仕入門の2ページ目、会員の職場訪問ツアー。一回も行ったことが無く、昔からの物だが、来年度で出来たらいいと思う。

##### 西野

職業奉仕について、入会一年未満のため、どんな職業奉仕をしているのかを聞いていたが、社会奉仕に近いと思う。まだ職業奉仕にピンと来ない。納税？職業で役に立つこと、専門性などをどうやって活かしていくか、今後活動を通じて、学んでいきたい。

##### 篠塚慎之介

私もピンと来ていない。まず今月入会したばかり。日ごろ、毎日ほぼ個人事業主と同じような動きをしている。若い人、男女などに社会制度などを話している現状なので、その規模を大きくしていくのが、私の職業奉仕なのかと、おぼろげながら思った。

##### 飯塚

専門分野の開発を奨励しようとするが、業界で月1回勉強会を開催している。如何にだれを信用できるか、相談できるか、そういった方にお繋ぎ出来るかが、ロータリアンなのだから最大限活かしたい。次週の卓話ではその一部をお伝えたく設定した。

##### 斉藤パスト会長

ロータリアンの職業宣言が決まったときはもっと多かったが、その前に設定されたこの行動規範はこのように8項目あり、それを要約して必要な物だけを抽出したものが現在のロータリーの目的になっている。まずこれが職業奉仕の原点になるので、来年度はロータリーの目的ではなく、行動規範を斉唱したらどうか？

##### 栗山会長

仕事をする上で考えることが、先ず利益を出していくこと、それは社員のスキルの向上だったり、正しく仕事をする事、それを向上させていくことで利益が生まれる。その利益の一部を、今年のターゲットや方針に上げさせていただいている、寄付に回していただけただけなら、バギオ基金、クラブ基金、米山、ロータリー財団、そういうところに少しでも貢献してほしい。

##### 勝間田

しっかり公正公平に仕事をして、利益を出す事が大事。特に交流を図りたい。また私が行っている仕事自体が訪問診療で、高齢者の方のお助けなので、その得た利益から次の世代の何かに回せばいいなと思う。

##### 地引

ロータリアンということは、少なからず皆さんに認められているということ。利益を出し、従業員、お客様、地域に還元していくことが先ず第一かなと思う。そのあたりは比較的出来ていると思っている。高い倫理基準を保ちとあるが、職業奉仕ということでどう貢献していけるのか、今後教えていただきたい。

##### 佐久間栄一パスト会長

この卓では地引会員のお話が良かった。すばらしかった。家庭集会は全員呼んで、職業奉仕について考えて行きたいとのこと。焼き鳥を焼いてくれるそう。

先週も卓話で話させていただきましたが、気づかないうちに皆さんにお世話になっている。佐藤正樹会員、本多副会長、栗山会長、尾身会員、みなさんありがとうございます。メンバー同士、気づかずに、皆助け合っているのが素晴らしいと思う。

以前、妻が福島県相馬市出身で、その実家に帰れない話をしたところ、本多副会長がバスを出し皆を乗せてくれ、現地に行き担当者から色々お話を聞き、温泉に行き、お酒も飲ませていただいた。その際に新聞社が来て、斉藤会員にインタビューをしたのですが、「これから先、これを機会に、この地域に対して考えていきたい」と素晴らしい発言をしていたのですが、そのあとの活動に関してはご自身にお聞きしたい。また他クラブの会員さんが、その担当者に弁護士会で現状の報告をしてもらい、その後はその支援活動に関わっているそう。非常に安心した。この報告書を写真入りで素晴らしい物を佐藤大輔会員が作ってくれたので、ぜひ皆さんお読みください。これがまさに職業奉仕！

##### 田村パスト会長

皆さんにご支援戴き現在地区の職業奉仕委員で勉強させていただいております。徐々に職業奉仕が軽視され、来年度からRIの方針は人道支援を前面にロータリー財団とプロジェクトを組んでいく。地区や地域が軽視されている感じがする。当クラブ、当分区、当地区では引き続き若い人も真剣に考えて、職業奉仕していただけることが重要。これがなくなるとロータリークラブじゃなくなる。他の奉仕団体と同じになってしまう。お互いの職業を助け合って、手を借りて、支援し合って行きたい。地引会員も愚痴が少し出ていましたが、そんな地引会員も一生懸命やっています。今日も忙しいながら来てくれて、続けること、正しいことが大事ということに落ち着いた。ぜひ皆さんも心がけてほしい。私自身も頑張っていきたいと思う。

##### 酒井

ロータリークラブ自体が職業奉仕という概念を消しつつある。人道支援に走る傾向が強い。アメリカにいたことがあるが、日本のようなクラブ形態ではなく、寄付をメインとした集まりのような感じがした。他団体は現地に出て活動が多いが、ロータリーは職業奉仕がメインになり、会員同士がつながり、地域に貢献している。鈴木会員の行っている政経塾がそのいい例。職業奉仕をベースにして、社会的な責任を果たし、地位を向上させ、自分の職業を高潔な物にしていく。他の奉仕団体と同じになるのは避けたく、日本のロータリアンは、今後職業奉仕の考えを守って行きたいと思う。

**坂本**

私も3.11の2日後に現地に行った。車を出せとお客さんに言われ、飛びました。なかなか日々奉仕している気持ちは忘れがちだが、そういうことを社員の方々に話しながら、説明した。1週間現地にはいり、働いたことも、職業奉仕なのかな？と感じる。日々忘れがちなことをリセットして原点に戻りながら、人のために、役に立つことが職業だというベースを、社員や得意先と共有して日々行っていきたい。

**須藤パスト会長**

何年前かに、北海道の企業の社長が捕まった。その後と同じような内容で捕まった社長がロータリアンだった。いつも言われている職業奉仕とは何だろう？と考えさせられた。もう少し引き締めて頑張っていかなければならないと思う。このテーブルで話が出てきたのは、子供食堂をやっているという話。すごくいいことだと思う。すぐに海外のほうに目を向けがちだが、国内でも貧しくて食べられない子供たちが少なくない。私も地元の学校と関わっているが、今は外国の方が多くなり、群れをなすようになったのでなかなか日本語を覚えるスピードが落ちるという、あたらしい問題も発生している。

私の事業所では20年近く子供たちを職業体験で受け入れているが、最近ではその子供たちの成果発表の際に立ち会って欲しいとの要望が強くなり、難しくなっている。他に貧しい子供たちへの支援を考え、イベントでなにかお手伝いしようと思う。

日本の子供たちが、貧しさと裕福さ、それをあわせて持っているということを認識していただき、オレンジボールのような素晴らしい活動をみんなでやっていけるとさらに楽しく出来ると思う。これから色々な格差社会が出てくるが、ロータリアンが色々な場面で皆さんに奉仕する姿を見せられていけばいいと思う。

**尾身**

会社を作ってから19年目になる。9年前から障害者の子供たちに仕事をやっていただくため、プラスチックのリサイクル、リユース、製品化までやらせていただいたり、そのような運動をしている。その他子供食堂という活動に関しても、鈴木会員の提案で弊社が古紙を集めて運転資金にし、いまは受託システムの子供たちを、佐藤正樹会員や坂本会員に運送を頼みながら、助手席に子供たちを乗せて一緒に古紙を運んでもらっている。将来的には受託システムでしか働けない子供たちに対して、通常の仕事が出来る環境を整えるということが、最終的な職業奉仕かと思う。

**佐藤正樹**

職業奉仕として思いついたのが、自分の会社および業界団体。運送業界では、社会的に地位が低い、ドライバー自身のプライドが無かったり、それに派生して賃金が世の中の平均より2~3割低いという現実がある。業界の活動では、安全対策としてドライバーさんに自ら取り組んでもらう仕組みにしている。会社の運営に関しては、鈴木会員のイズムが大変強く、従業員さんの生活の向上をテーマとして掲げ、会社を経営している。具体的には、コンプライアンスだったり、働き方改革だったり、賃金アップなどをしっかりやっけていこうと努めている。同時に従業員さんの教育をしっかりとやりながら、少しでも生活を向上させるためにはレベルアップをしなければならないので、そのフォローアップも行っている。個人的には、何が成功家の定義が曖昧かと思うが、まず自分が成功体験をしなければならず、本当の意味での世の中に奉仕が出来ないのではないかと、ということ強く思っている。

**高橋パスト会長**

健康を通じて社会に貢献するという経営理念がある。またコンプライアンスもしっかり守ることに努めさせている。私は経営者なので、従業員の雇用も守るということでは、定年制を無くし、有給消化率100%を目指し、残業ゼロ運動を行っている。遅くても1時間以内に帰れなかったときには、上司と面談することになっている。また各ハラスメント問題に関してもゼロを目指している。そういう話があれば講習を受けさせている。また産休、育休からの復職率100%を目指して、3年前から100%が出来ている

ので、このままずっと続けて行きたいと思う。

このように、雇用を守り、その方々に高い倫理基準を持ってもらい、自分たちの職業を高潔なものにブラッシュアップできるように、職業奉仕をしている。

**入澤パスト会長**

職業を通して社会に貢献することとして、まず認知症高齢者や障害者、知的障害者、その人たちの成年後見人業務をしているが、対人のことなのでケースバイケースで大変なことも多いが、色々調べたりして、支援をしている。専門性を高め、日々成長しているということに努めている。もうひとつは所有者が特定できない土地が増えており、一説によれば九州全体の面積とほぼ同じぐらいあるそう。公共工事しようとしても相続人が誰かわからず、進まないという状況になっており、相続人を特定すると言う大変な業務にも取り組んで、世の中に貢献するというこもやっている。

**佐藤大輔**

印刷業としての職業奉仕がわからず、職業奉仕と社会奉仕と青年奉仕の境目が曖昧だったり。

皆さんのお話を聞きまして気づいたのが、何故職業奉仕の概念が曖昧かというと、ロータリーとして、奉仕活動としての源がそもそも職業奉仕だからなのではないかということ。まずは高い倫理基準を保ち、地域の業界でNo.1になり、利益をしっかりと上げれば、自ずと顧客、社員、関係会社、取引先など1人でも多くの方を幸せに出来る。また他の活動においても資金が生まれる。業界や地域性などはそれぞれなので、だから職業奉仕は曖昧なのだと思った。

**栗山会長**

皆さんの貴重なご意見、ありがとうございました。皆さんの意見を聞けたからこそ、佐藤大輔会員のように気づけたことがたくさんあると思う。今後とも職業奉仕やっていきましょう。最後に齊藤会員にまとめていただきたいと思います。

**齊藤パスト会長**

まず質問に対してなのですが、福島の新聞のインタビューに関しては、佐久間会員が私にいきなり振って、とっさに答えたものでした。こういうものは風化させてはいけないと、東京に戻っても伝えていきたいと思います、ということと話したものが、偶々新聞に掲載されてしまったというのが現実です。

ロータリアンとして大事なことは、まずは行動すること。キリストが言うには「よきことは隠れてしろ」、中国の古い言葉では「隠匿」、など格言としてかなりあります。ロータリアンは、最もよく奉仕するものは最も報われる。だから見えなくても一生懸命やっていたら、めぐりめぐって返ってくるし、奉仕することに関し、見返りを求めてはいけないということを胸に秘めやって行きたいと思う。

職場訪問に関しては、以前は工場見学に行っていました。あまり大きい会社じゃなかったが、世界中の有名な教授やドクター、医療メーカーから、こういうものを作ってくれと、素晴らしい技術を持った会社でした。そういうところを見学できるというのはロータリーならではのです。次年度、もしそのような見学をOKしてくれる会社があれば、ぜひそういうところで職場訪問をやってもいいのではないかと思います。

職業倫理は、この厳しい競争社会の中で聖人君子なんていないし、だれも模範解答を出せる人はいないと思います。市井の庶民ではあるが、1人でも職業倫理を高めようと、少しでも根幹から良くしよう、存在感を増し、結果毎週参加しようと思いが出てきます。そしてみんなの話を聞けば、今日もみなさんがたくさん勉強できたように、色々なことを広く学べます。そういう人たちが集まっているのがロータリークラブだと思います。

次週以降もぜひ参加していき、よりよい職業奉仕が出来よう、頑張っていきたいと思います！